

国立大学法人 お茶の水女子大学
インフラ長寿命化計画（行動計画）



エアコン(室外機)



変電設備 (変圧器)



受水槽

令和5年12月 改訂

国立大学法人 お茶の水女子大学

目 次

I. はじめに	1
II. 計画の範囲	2
1.対象施設	2
2.計画期間	5
III. 対象施設の現状と課題	6
1.老朽化の状況	6
2.維持管理の現状と課題	9
(1) 点検・診断の実施状況	
(2) 対策の実施状況	
(3) 老朽施設の計画的対策の必要性	
IV. 中長期的なコストの見通し	11
V. 必要施策に係る取組の方向性	12
1.メンテナンスサイクル構築	
(1) 点検・診断の着実な実施	
(2) 計画の策定	
(3) 対策の着実な実施	
2.情報の整備と活用	
3.新技術の導入	
4.予算管理	
5.体制の整備	
VI. フォローアップ	14

I. はじめに

本学は、大学、大学院、実験施設、課外活動施設、学生寮、附属学校等の学生(児童)・教職員等が利用する多種多様な施設等を所有又は管理している。

これらの施設は、教育研究等を支える重要な基盤の一角を形成するものであるが、その多くは昭和40年代～50年代に整備されている、建築後25年を経過しているといった、改修を要する施設が約4割を占めるなど、老朽化が進行している。

現下の厳しい財政状況の中、これらの施設を全て従来の改築の手法で対応していくことは困難であることから、点検により劣化、損傷等の老朽化の状況を的確に把握した上で、建物、部位の優先順位付けや修繕予算の平準化、トータルコストの縮減等を加味した計画を策定し、同計画に基づき効果的・効率的に長寿命化を図ることにより、良好な状態の維持や安全性の確保に努めていく必要がある。

これまで、本学においては、文部科学省の『国立大学法人等施設整備5か年計画』に基づいた計画的な施設整備を図るなど、老朽化対策の推進に資する様々な施策に取り組んできたところである。

他方、平成24(2012)年12月の中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を受け、政府全体の取組として、国民生活や社会経済活動を支えるインフラに関する維持管理等の方向性を示す基本的な計画である『インフラ長寿命化基本計画』（以下『基本計画』という。）が、平成25(2013)年11月に策定された。（インフラ老朽化対策の推進に関する関係府省庁連絡会議決定）

文部科学省は、基本計画を踏まえ、所管または管理する施設の維持管理等を着実に推進するため『文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）』を平成27(2015)年3月に策定した。

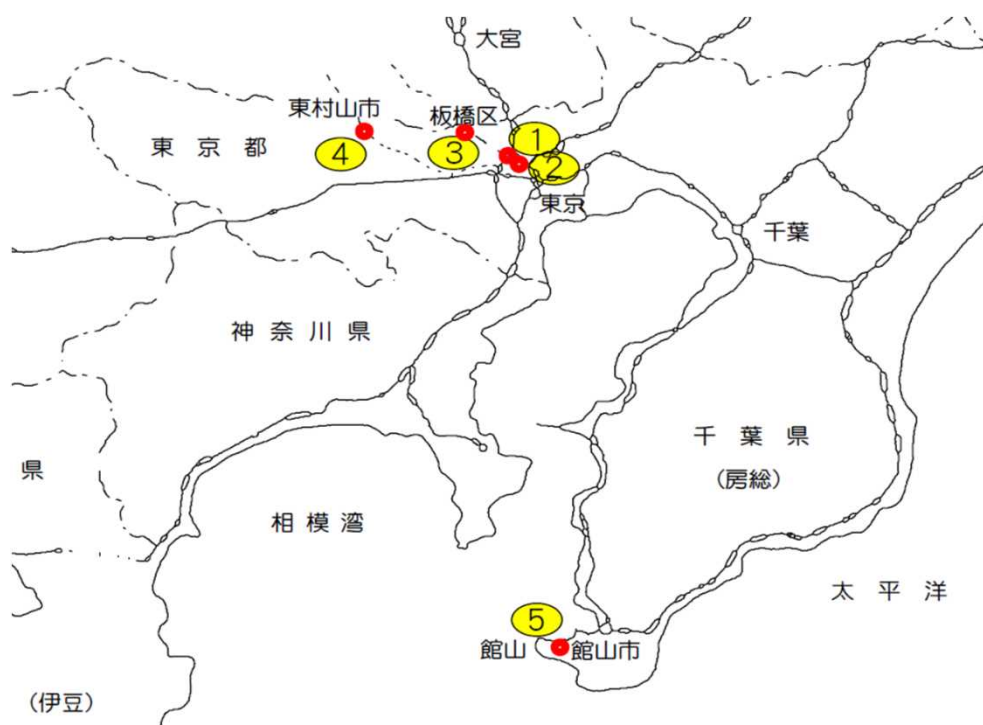
このため、本学においても、文部科学省の行動計画を踏まえ、本学が所有又は管理する施設の維持管理等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を明らかにするため、平成29(2017)年3月に『お茶の水女子大学インフラ長寿命化計画（行動計画）』（以下『本行動計画』という。）を策定した。日々、本計画に基づき維持管理等を行っているが、継続的に見直すこととしており、第Ⅱ期間のはじまりの前に改訂版を令和6(2024)年3月に策定する。これにより、所有又は管理施設の長寿命化に向けた取組を一層推進するものである。

II. 計画の範囲

1. 対象施設

本学が所有又は管理する施設には、大学教育・研究施設、共同研究施設、図書館、体育施設、支援施設、宿泊施設、附属学校、管理施設、職員宿舎等があり、それらの用途及び規模は多種多様であるが、本行動計画においては、基本計画を踏まえ、学生（児童等）・教職員等の安全・安心を確保するとともに、施設の長寿命化による維持管理等に係る中長期的な財政支出の低減を図る観点から、全ての施設を対象とする。

【本学の対象施設】



番号	団地名	所在地	主要施設	敷地/建物延面積(m ²)
1	大塚1	東京都文京区大塚2-1-1	大学校舎・附属図書館 学生支援施設・附属学校校舎他	113,741 / 99,212
2	大塚2	東京都文京区大塚1-6-6	小石川寮・お茶大SCC（学生寮） 北「キヲビ」ユ・ティツ」実験住宅	2,553 / 2,784
3	板橋	東京都板橋区仲町2-1	なし	8,029 / -
4	東村山	東京都東村山市萩山町2-3-1	郊外園（農場）	3,168 / -
5	館山	千葉県館山市香11	湾岸生物教育研究所 館山野外教育施設	8,623 / 1,107

※板橋団地は、令和4（2022）年度より土地を民間に貸し付けており、本学が所有する施設がない。

お茶の水女子大学 施設一覧表

建築年順

耐震：×耐震性劣、○改修済、◎耐震性有、-対象外

R5.5.1現在

棟番号	一棟扱い建物	棟名称	建築年	経過年	構造	階数		建築面積	建物延床面積	耐震改修履歴 改修年	外部改修履歴 改修年	内部改修履歴 改修年	耐震	備考	
						地上階	地下階								
1. 大塚1団地															
大学・大学院施設															
505-1	*	課外活動団体談話室(1)	1929	S4	94	R	1	1	437	509	-	2003	2003	-	
310		プール附属室	1931	S6	92	R	1	-	65	69	-			-	
401-1	*	大学本館(1)	1932	S7	91	R	3	-	3,881	7,909	2005	2005	2005	○	
401-2	*	大学講堂(2)	1932	S7	91	R	2	-	-	1,550	2006	2006	2006	○	
605-1	*	守衛室(1)	1939	S14	84	W	1	-	31	26	-			-	
203-1	*	附属図書館(1)	1958	S33	65	R	3	-	2,144	591	2009	2018	2018	○	
203-2	*	附属図書館(2)	1959	S34	64	R	3	-	-	896	2009	2018	2018	○	
505-2	*	課外活動団体談話室(2)	1964	S39	59	B	1	-	-	67	-			-	
402-1	*	生活科学部本館2(1)	1965	S40	58	R	3	-	368	1,054	2015	2015	2015	○	
402-2	*	生活科学部本館2(2)	1965	S40	58	S	1	-	-	99	2015	2015	2015	○	
406		倉庫	1965	S40	58	R	1	-	82	82	-			-	
605-2	*	守衛室(2)	1965	S40	58	W	1	-	-	5	-			-	
311		プール機器室	1966	S41	57	B	1	-	18	18	-			-	
301-1	*	理学部1号館(1)	1967	S42	56	R	6	-	1,359	4,235	2009	2021	2021	○	
504-1	*	大学体育館(1)	1967	S42	56	R	2	-	927	1,217	2009	2009		○	
301-2	*	理学部1号館(2)	1968	S43	55	R	6	-	-	4,128	2009	2022	2022	○	
202-1	*	共通講義棟1号館(1)	1969	S44	54	R	4	-	613	2,099	2009	2009		○	
504-2	*	大学体育館(2)	1969	S44	54	R	1	-	-	173	2009	2009		○	
303-1	*	動物飼育施設(1)	1970	S45	53	B	1	-	140	100	-	2009	2009	-	
304		薬品庫	1971	S46	52	R	1	-	45	45	-			-	
201		文教育学部1号館	1972	S47	51	SR	8	-	1,024	6,988	2008	2008		○	
203-3	*	附属図書館(3)	1972	S47	51	R	2	-	-	1,485	2009	2018	2018	○	
305		倉庫	1972	S47	51	B	1	-	15	15	-			-	
101-1	*	学生センター棟(1)	1974	S49	49	R	4	-	542	2,032	2013	2013	2013	○	
401-3	*	大学本館(3)	1975	S50	48	S	1	-	-	24	-	2005	2005	◎	
509		弓道場	1975	S50	48	B	1	-	65	65	-			-	
107		保健管理センター	1976	S51	47	R	2	-	161	322	-	2004		-	
108-1	*	大学食堂(1)	1976	S51	47	R	2	-	625	898	2009	2005		○	
303-2	*	動物飼育施設(2)	1978	S53	45	B	1	-	-	32	-	2009	2009	-	
312		理学部2号館	1978	S53	45	R	6	-	736	2,816	2009	2009		○	
312		情報基盤センター	1978	S53	45	R	2	-	-	507	-		2004	◎	
204-1	*	共通講義棟2号館	1979	S54	44	R	2	-	504	965	-	2001	2014	◎	
205		共通講義棟3号館	1979	S54	44	R	5	-	479	2,357	2014	2014	2014	○	
511		人間文化棟	1979	S54	44	R	6	-	450	2,835	2015	2015	2015	○	
110-1	*	学生部分室(1)	1980	S55	43	S	1	-	118	86	-			-	
111		倉庫	1980	S55	43	S	1	-	33	33	-			-	
110-2	*	学生部分室(2)	1981	S56	42	S	1	-	-	32	-			-	
203-4	*	附属図書館(4)	1982	S57	41	R	2	1	-	1,450	新耐震	2007			
303-3	*	動物飼育施設(3)	1982	S57	41	B	1	-	-	8	新耐震	2009	2009		
512		文教育学部2号館	1983	S58	40	R	3	-	805	1,930	新耐震				
101-2	*	学生センター棟(2)	1994	H6	29	S	5	-	-	137	新耐震				
313		理学部3号館	1994	H6	29	SR	7	2	599	4,074	新耐震				
202-2	*	共通講義棟1号館(2)	2000	H12	23	S	4	-	-	100	新耐震				
314		RⅠ実験棟	2000	H12	23	R	2	-	199	352	新耐震				
407		総合研究棟	2003	H15	20	SR	8	1	640	5,626	新耐震				
408		薬品庫	2005	H17	18	R	1	-	31	31	新耐震				
108-2	*	大学食堂(2)	2009	H21	14	S	1	-	-	130	新耐震				
409		お茶大アカデミック・プロダクション研究棟	2009	H21	14	S	3	-	201	600	新耐震				
514		茶室	2009	H21	14	W	1	-	101	97	新耐震				
515		Student Commons	2016	H28	7	S	2	-	616	928	新耐震				
903		こども園	2016	H28	7	S	2	-	315	534	新耐震				
203-5	*	附属図書館(5)	2018	H30	5	S	2	-	-	631	新耐震				
410		屋外エレベーター棟	2018	H30	5	R	2	-	15	22	新耐震				
19		国際交流留学生プラザ	2019	H31	4	S	4	-	674	2,336	新耐震				
516		お茶の水女子大学音羽館	2022	R4	1	R	7	-	1,918	10,149	新耐震				
計										75,499					

建築年順

耐震：×耐震性劣、○改修済、◎耐震性有、－対象外

棟番号	一棟扱い建物	棟名称	建築年		経過年	構造	階数		建築面積	建物延床面積	耐震改修履歴 改修年	外部改修履歴 改修年	内部改修履歴 改修年	耐震	備考
							地上階	地下階							
附属学校園施設															
901-1	*	附幼稚園舎	1931	S6	92	R	1	-	1,313	1,244	-	2014	2014	◎	
902		物置	1933	S8	90	W	1	-	33	33	-			-	
601		附高校舎	1935	S10	88	R	3	-	1,535	4,655	2009	2019	2019	○	
901-2	*	物置	1936	S11	87	W	1	-	-	50	-	2014	2014	-	
702		技術科教室	1960	S35	63	W	1	-	162	162	-			-	
701-1	*	附中学校舎1(1)	1963	S38	60	R	3	-	1,156	1,314	2008	2008	2008	○	
701-2	*	附中学校舎1(2)	1964	S39	59	R	3	-	-	1,555	2008	2008	2008	○	
805		附小体育館	1971	S46	52	S	1	-	588	615	2009	2009	2014	○	
604		附高体育館	1972	S47	51	S	1	-	1,004	1,060	-			◎	
808		附小校舎2	1977	S52	46	R	2	-	677	975	-	2014	2014	◎	
707		附中学校舎2	1981	S56	42	R	3	-	394	1,047	2014	2014	2014	○	
801		附小校舎3	1981	S56	42	R	4	-	1,822	1,043	-	2014	2014	◎	
801		附小校舎1	1987	S62	36	R	4	-	1,822	4,755	新耐震	2014	2014		
708		附中体育館	1990	H2	33	R	2	-	1,056	1,493	新耐震				
017-2	*	いずみナーサリー	1995	H7	28	R	1	-	175	175	新耐震				
701-3	*	附中学校舎1(3)	2008	H20	15	R	3	-	-	407	新耐震				
809		倉庫	2013	H25	10	S	1	-	33	33	新耐震				
810		プール附属室	2014	H26	9	R	2	-	117	203	新耐震				
計										20,819					
同窓会館施設															
018-2	*	大学会館	1959	S34	64	R	2	-	492	411	-			◎	
018-1	*	大学会館	1962	S37	61	R	2	-	-	596	-			◎	
計										1,007					
職員宿舎															
017-1	*	職員独身宿舎	1995	H7	28	R	5	-	519	1,887	新耐震				
計										1,887					
2. 大塚2団地															
101-1	*	小石川寮	1981	S56	42	R	4	0	481	1,415	-				
21		ユビキタス実験住宅	2009	H21	14	R	1	0	91	83	新耐震				
101-2	*	小石川寮	2011	H23	12	R	1	0	0	2	新耐震				
102		お茶大SCC	2011	H23	12	R	3	0	459	1,261	新耐震				
103		ゴミ置場	2011	H23	12	R	1	0	26	23	新耐震				
計										2,784					
5. 館山団地															
11		館山宿舎	1970	S45	53	W	1	0	51	51	-				
12		教官用宿泊施設	1970	S45	53	W	1	0	44	44	-				
101		湾岸生物教育研究所	1970	S45	53	R	1	0	300	307	-	2002	2002		
102		宿泊棟	1970	S45	53	R	2	0	170	378	-	2001	2001		
103		館山野外教育施設	1978	S53	45	W	1	0	277	277	2015	2015	2015		
104		車庫	1983	S58	40	B	1	0	25	25	新耐震				
105		船具庫	1996	H8	27	B	1	0	25	25	新耐震				
計										1,107					
合計										103,103					

※同一棟で増築により建築年が異なる場合は、建築年で分けて表示している。一棟扱い建物として*を表示している。

2.計画期間

本行動計画の計画期間は、2016年度(平成28年度)から2045年度(令和27年度)迄の30年間とする。

なお、2024年度(令和6年度)から2030年度(令和12年度)迄を第Ⅱ期間としキャンパスマスタープランに合わせて5年毎に見直しを行う。

インフラ長寿命化計画の計画期間

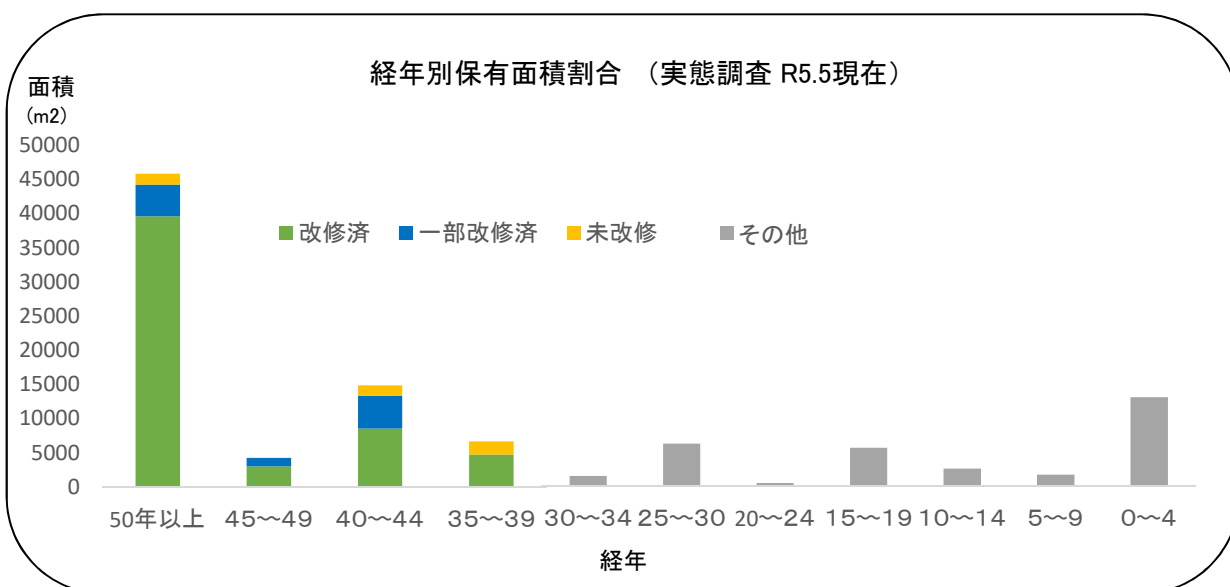
	平成 23年 (2011)	平成 28年 (2016)	令和 3年 (2021)	令和 8年 (2026)	令和 13年 (2031)	令和 18年 (2036)	令和 23年 (2041)
施設整備5か年計画	Ⅲ期	Ⅳ期	Ⅴ期	Ⅵ期	Ⅶ期	Ⅷ期	Ⅸ期
中期目標・中期計画	2期	3期	4期	5期	6期	7期	
キャンパスマスタープラン	H25	H28年	R3年	R8年	R13年	R18年	R23年
	フレームワークプラン【30年後の姿】平成28年—令和27年						
各種法定点検の実施	[横線]						
行動計画		H28-R5	R6-R12	R13-R17	R18-R22	R23-R27	
個別施設計画		[横線]					
予算管理	[横線]						

Ⅲ. 対象施設の現状と課題

1. 老朽化の状況

本学の施設は、教育、学術研究の進展などと歩みを一つにし、様々な時代の要請に応えながら、教育研究と一体的な整備がなされ、教育研究活動の基盤を支える社会資本を形成している。建物の耐震化については、平成27(2015)年度に完了し、また、大空間の天井などの建築非構造部材（柱、梁、床などの構造体ではなく、天井材や外装材など、構造体と区分された部材）の耐震化も平成28(2016)年度に完了した。

また、老朽化に対する改善については、本学の全建物（保有）面積は103,103 m²（令和5(2023)年5月1日現在。以下同じ）で、その内、建築後50年以上経過した建物（保有）面積は45,835 m²で全体の44.5%となっている。改修の目安とされている建築後25年以上経過した建物（保有）面積は79,555 m²で、この内、外部改修と内部改修を実施済みのものは49,024 m²と62%となり、残りの30,531 m²について改修が必要な状況である。



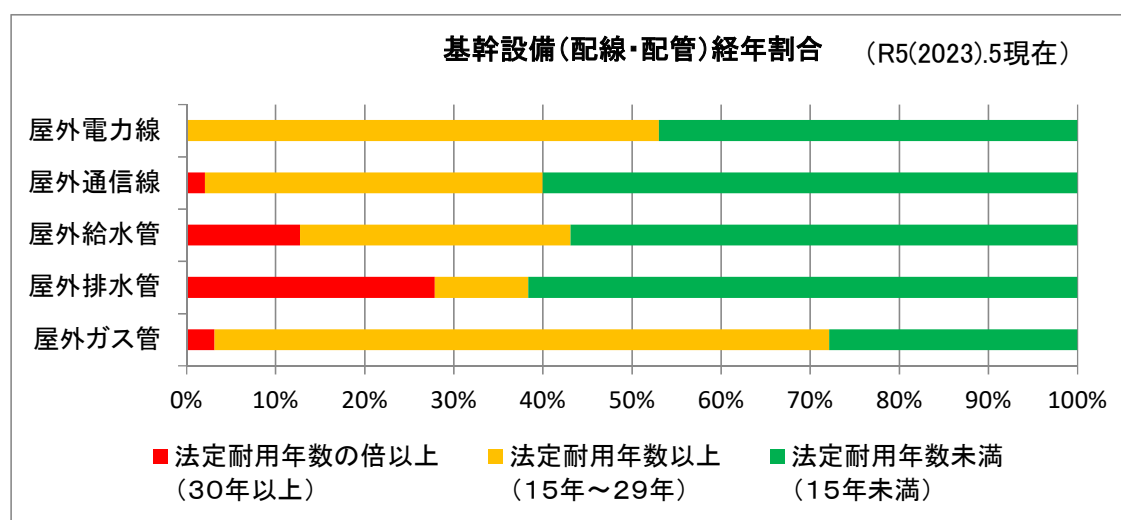
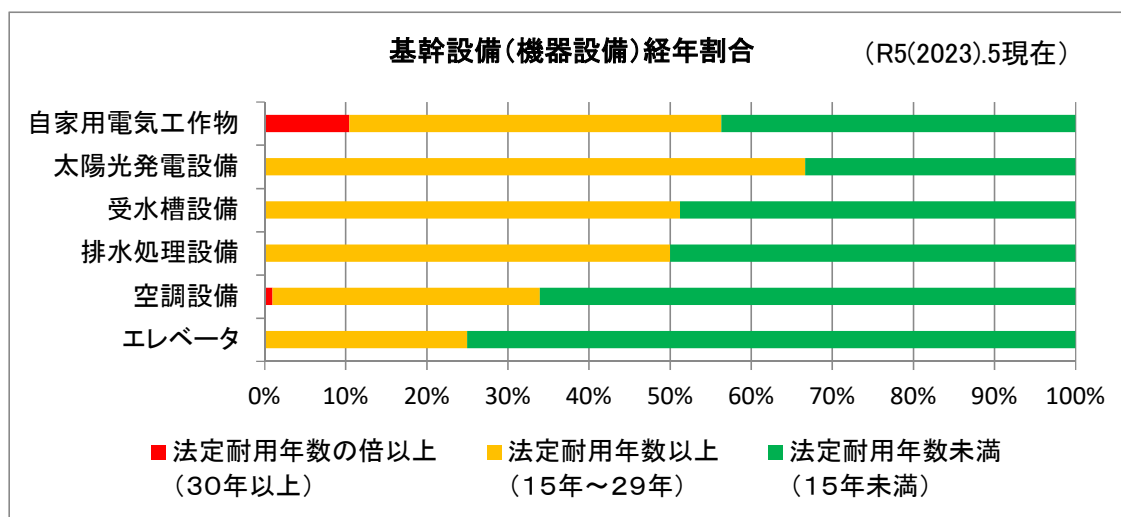
改修済 : 外部、内部、耐震の全てが改修済み
一部改修済: 外部、内部、耐震のいずれかが未改修
未改修 : 外部、内部、耐震の全てが未改修

また、主要な基幹設備（ライフライン）については、法定耐用年数を超えるもの
※1 ※2
 の割合が高い。

今後、老朽化が原因で電気設備やガス設備、給排水設備等の故障や事故が発生した場合には、教育研究活動の支障となるとともに、児童・生徒・学生及び教職員などの安全確保に問題が生ずる。

特に、本学においては、給水管、排水管、ガス管や電気ケーブル等の多くが道路の下に埋設されているが、老朽化の状況把握が充分とはいえない状況である。

今後、計画的に老朽化の状況把握に努めるとともに、適切な維持管理が必要である。

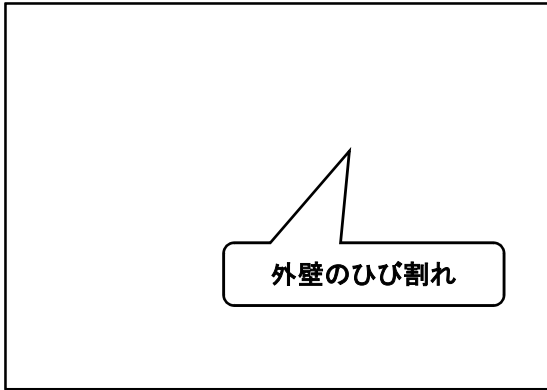


※1 基幹設備(ライフライン) : 大学等の教育研究活動に不可欠な電力、ガス、通信・情報、給排水、空調等を維持するために必要となる建築設備の主要・幹線部分をいう。

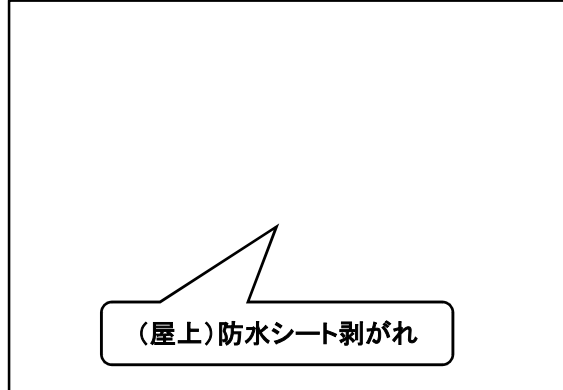
※2 法定耐用年数 : 減価償却資産の耐用年数等に関する省令に基づく耐用年数

【老朽化の状況】

理学部2号館



文教育学部2号館

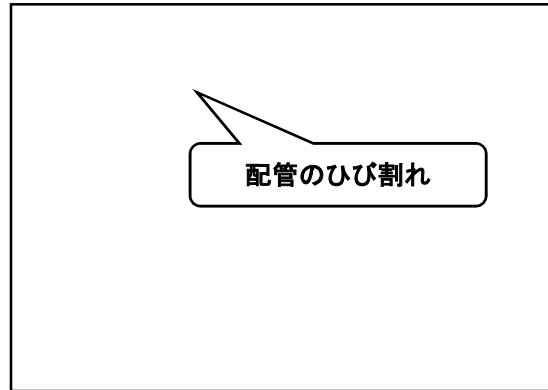


空調設備

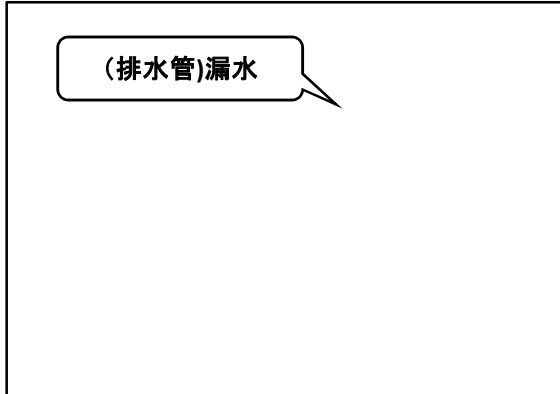


屋外排水管

(対応済み)



共同溝内

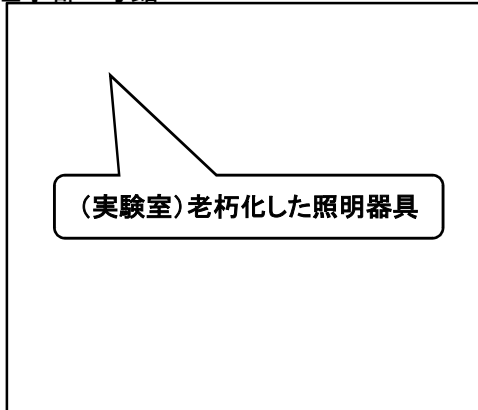


共同溝内



理学部2号館

(対応済み)



理学部2号館



